名道研だより　第４２号

心輝け 子どもたち！

発　行
平成２８年２月２２日
名古屋道徳教育研究会
広　報　部
meidouken.com

名古屋市道徳研究会研究発表会　開催
１月２６日（火）教育館にて

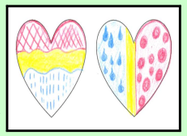
授業づくり部会
魅力あふれる！道徳の授業
－ひと工夫で変わる　道徳の授業－

授業のねらいを具体化して、授業にひと工夫を加えることで、魅力あふれる授業を考える研究を進めました。

板書の工夫
人物絵を時系列に沿って移動させることで、主人公の気持ちを捉えやすくする。

話し合い活動の工夫
友達のワークシートに○や☆を書いて話し合うことで、自分の考えを深めることができるようにする。

書く活動の工夫
ハートに色を塗ったり模様を描いたりする活動で、主人公の気持ちを視覚的に表現させる。



表現活動の工夫
主人公の心情や言動をブロックに書き表すことで、様々な気持ちに気付くようにする。

説話の工夫
写真の提示の仕方を工夫することで、心に強く残る説話にする。

※　詳しくは、各学校に配布されている会報（ＣＤ−Ｒ付き）をご覧ください。

テーマ研究部会
考えを広げ、深めることでよりよく生きようとする気持ちを高める道徳教育
～家庭と連携した授業を通して～

保護者の意見を授業に取り入れたり、学んだことを家庭で話し合わせたりするなどして、「家庭との連携」に力を入れ、その有効性について研究を進めました。

家庭との連携
- 家庭での話し合い
- 授業参観
- 保護者のコメント

授業参観のときに、保護者と子どもたちとの意見を比べましたが、どのような効果があったと思いますか。

保護者から意見をいただくことで、これまで気付かなかった保護者の深い愛情に気付かせることができました。ぜひ、みなさんにも授業参観で道徳の授業をしてほしいです。

『合同学習会』
道徳の指導方法、道徳教育の動向などについて学習する会です。

授業づくり部会、テーマ部会の後に開催しています。お気軽にご参加ください。

「会報」をお届けしました！！
掲載した授業の指導案や過去８年分の資料などが入ったCD-R付きです。ぜひ学校全体でご活用ください。

顧問校長あいさつ

道徳研究会顧問校長
東山小学校長
佐藤　佳子

先日の大雪では、高学年の児童も素直に喜びの感情を表していました。子どもたちの心を揺さぶるものには、この雪のような、自然の事物による感動体験があげられますが、道徳の時間もまた、児童の心を揺さぶる時間であってほしいと思います。

さて、道徳の教科化が小学校では平成３０年度から、中学校では平成３１年度から始まります。研究会では、本日の発表のように、様々な指導方法について、今後も研究を深めていきたいと思います。また、本日ご参会の先生方には、ぜひ「考え、議論する道徳」を目指し、道徳科の授業が、子どもたちが深く考える主体的・能動的な学習（アクティブ・ラーニング）になるように、能動的な学習者（アクティブ・ラーナー）となっていただきたいと願います。

指導・助言

教育委員会
指導室指導主事
加賀　幸一先生

今後、教科化に向け、ますます力を入れていかなければならない道徳の授業について、「手軽に」「ひと工夫」という視点で研究をされたことが意義深いと思います。

授業づくり部会については、学習指導要領解説の中に示されていた７つの工夫に着目している実践でした。また、子どもの深まりのある発言を引き出すための「発言先取り提示法」のように、どの先生方も「手軽に」まねができることが散りばめられていました。

テーマ研究部会についても、やはり学習指導要領解説でも取り上げられている家庭や地域社会との関連性を高めることをねらった、汎用性の高い研究でした。児童は自分の生活を振り返り易く、また家族で話題にすることで家庭の道徳的価値観を高めることにもつながる実践だと思います。

速報　NO. 2

道徳の「教科化」に向けて

今回は、小学校新学習指導要領の中の「第３章 特別の教科　道徳」（「道徳科」）から４つのポイントをご紹介します。

第３章　特別の教科　道徳

第２　内　容

☆　ポイント１
いじめの問題への対応や児童の発達の段階を、より一層踏まえた体系的なものになりました。そのため、以下の内容項目が加えられました。

１・２年　「個性の伸長」「公正、公平、社会正義」
　　「国際理解、国際親善」
３・４年　「相互理解、寛容」「公正、公平、社会正義」
５・６年　「よりよく生きる喜び」

第３　指導計画の作成と内容の取扱い

☆　ポイント２
問題解決的な学習や体験的な学習などを取り入れ、指導方法を工夫することが求められています。

２（5）児童の発達の段階や特性等を考慮し、指導のねらいに即して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れるなど、指導方法を工夫すること。

☆　ポイント３
教材は、検定教科書が導入されます。
（小学校は平成30年から、中学校は平成３１年から）

３（1）児童の発達の段階や特性、地域の実情等を考慮し、多様な教材の活用に努めること。
（主たる教材として教科用図書を使用しなければならない‥が、多様な教材を併せて活用することが重要《学習指導要領解説より》）

☆　ポイント４
評価は、今まで通り数値評価はしません。児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握するようにします。

１　児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し‥‥、数値などによる評価は行わない。

（今後、評価については**「道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議」**より、詳しく示される予定です。）